

次世代を担う子ども・若者応援クーポン給付事業
業務委託事業者公募型公開プロポーザル実施報告書

令和6年7月4日

次世代を担う子ども・若者応援クーポン給付事業
業務委託事業者選定委員会

1 経緯

国における重点支援地方交付金を活用し、和光市において、これまで十分に支援が行き届かなかった子ども・若者に対する生活支援と地域経済を下支えする中小事業者に対する支援を行い、もって物価高騰に対する負担軽減を図ることを目的とした「次世代を担う子ども・若者応援クーポン給付事業」を実施するために、子ども・若者の支援及び、クーポンの給付、また地域経済の活性について見識をもつ事業者を選定するため、公募型公開プロポーザルを実施いたしました。

公募の結果、3事業者から申請書が提出されました。当委員会では、受託者としての適格性、事業提案の内容等について公開プレゼンテーション等による審査を行い、委託事業者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

2 公募した事業の概要

- (1) 電子クーポンの発行及・管理システムの構築
- (2) 電子クーポン利用後の換金
- (3) 電子クーポン取扱店舗に係る事務（募集・受付・登録及び取扱い説明含む）
- (4) 事業の告知・広報
- (5) コールセンターの設置、運営
- (6) 対象者向け発送業務
- (7) 電子クーポン活用事業の集計・分析
- (8) 子ども・若者アンケート調査票の作成
- (9) 子ども・若者アンケート回答の集計・分析

3 選定委員会委員

職 名	氏 名	所 属
委員長	渡辺 正成	子どもあんしん部長
委 員	中川 大	企画人権課長
委 員	大塚 欣也	市民環境部次長兼産業支援課長
委 員	平川 京子	子どもあんしん部次長兼子ども家庭支援課長
委 員	森谷 聡子	スポーツ青少年課長
委 員	郭 洋春	立教大学教授 社会経済及び産業支援に関し専門的な知識経験を有する者

4 選定の経過

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 第1回選定委員会開催 | 令和6年5月29日（水） |
| (2) 実施要領等の公表 | 令和6年6月 1日（土） |

- | | |
|-----------------------|---------------|
| (3) 質問書受付期限 | 令和6年6月 9日 (日) |
| (4) 質問に対する回答 | 令和6年6月14日 (金) |
| (5) 参加申込書・企画提案書等の提出期限 | 令和6年6月21日 (金) |
| (6) 第2回選定委員会 | 令和6年7月 4日 (木) |

5 選定にあたっての考え方

選定は、事務局による資格審査を行った上で、提出された企画提案書等、公開プレゼンテーション及び質疑応答により、総合的に審査しました。各委員は応募事業者の提案内容等を以下の評価項目及び配点により、100点満点で採点し、応募事業者の評価点は、全員の平均点（小数点以下切り捨て）としました。また、基準点の70点を超える評価を得なければ、選定されないこととしました。

< 評価項目及び配点 >

評 価 項 目	配点
(1) 会社概要・業務実績	10点
(2) 提案事業の実行性	10点
(3) 対象者向けアンケートの活用性	25点
(4) クーポンの給付部分の明解性、活用性	25点
(5) 経費見積	20点
(6) 企画提案の取組姿勢	10点

合計 100点

6 選定結果及び選定理由

(1) 選定結果

選定事業者

G C 共同事業体 評価点 81点

(2) 選定の講評

本事業に対して3事業者から応募があり、関心の高い公募となりました。1事業者社については、基準点に届かなかったため、残り2事業者の評価点を合議において確認し、評価点の高いG C 共同事業体を選定事業者としました。

評価の結果、2事業者については、すべての評価項目で70%以上の得点を取得していました。選定したG C 共同事業体は、(2)提案事業の実行性、(3)対象者向けアンケートの活用性 (5)経費見積、(6)企画提案の取組姿勢の4項目において第1位の評価点を取得しました。特に、(3)対象者向けアンケートの活用性においては、アンケートの目的が明確に示され、集計及び分析では、具体的な提案をされた点が高い評価を得た他、プレゼンテーションにおいて、企画提案を明瞭完結に説明するなど、丁寧な姿勢も伺えました。

以上のことから、新たな子ども・若者支援を構築するにあたり、次の施策に繋がる提案と本事業の確実な実行性に期待し、G C 共同事業体を選定するに至りました。

以 上